

Voice 4 市身体障害者福祉協議会
西城直彦さん
室根町折壁・68歳



私は1968年に福井県で行われた全国障がい者大会に100m走とやり投げで出場しました。障がい者スポーツは、まだまだ認知度が低い。PRの必要性を感じています。国体では、車椅子バスケットボールと知的障がい者バスケットボールが行われます。年内に車椅子バスケットボールは、体験会も開かれる予定。皆さんには、関心を持って大会に携わってほしいです。



Wheelchair Basketball
●日程(知・身)
28年10月22日⑤～24日⑥
●会場(知・身)
市総合体育館

Voice 3 市フェンシング協会
秋保茂樹会長
南新町・55歳



一関は、フェンシングゆかりの地です。1900年、田村家14代・丕頭公が米国留学中に、日本人で初めてフェンシングをしたといわれています。国体に向けて、指導者を招いて競技力を強化すること、競技人口を増やすことに力を入れています。12月には、全日本選手権大会がリハーサル大会として開かれます。市民の皆さんにもぜひ観戦してほしい。



Fencing
●日程
28年10月2日⑥～5日⑦
●会場
市総合体育館

Voice 2 市バスケットボール協会
江刺邦昌会長
駅前・75歳



1970年の岩手国体では、審判員を務めました。市協会長として、いわて国体を迎えることは、感動もひとしおです。協会は、開催に向けて準備が本格化しています。岩手で国内最高峰のプレーを見れる絶好のチャンス。もっとPRに力を入れていきたいです。国体の開催を機に、さらに競技人口の底辺を広げていきたい。



Basketball
●日程
28年10月7日⑤～10日⑥
●会場
【成年男子】市総合体育館
東山総合体育館
【少年男子】市総合体育館

Voice 1 市バレーボール協会
阿部諭一会長
滝沢・67歳



協会として、クラブカップ女子大会を来年の国体のリハーサル大会として位置付け、準備を行ってきました。猛暑の中、協会員や地元高校生、地域ボランティアなど多くの人の協力で、素晴らしい大会が開催できました。来年の国体では、市を挙げておもてなしができればと思っています。協会員全員で力を合わせて成功させたい。



Volleyball
●日程
28年10月2日⑥～5日⑦
●会場
【成年男子】東山総合体育館
【成年女子】千厩体育館
花泉体育館

一関で行われる希望郷いわて国体の正式競技は、成年バレーボール、少年と成年バスケットボール、少年と成年フェンシング、デモンストレーション競技として、スポーツ吹矢とバウンドテニスが行われる。また、希望郷いわて大会では、車椅子バスケットボールと知的障がい者バスケットボールが、合わせて7種目の会場地になる。

開催が1年後に迫り、各競技団体の準備は急ピッチ。全国から訪れる選手や観客などの受け入れ体制を整え、選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を作ることが急務だ。

競技団体だけでなく、我々市民がおもてなしの心を持って、迎えることも大会の成否を左右する。45年前に開かれた岩手国体では、沿道の花で彩る「花いっぱい運動」などが県内で展開された。県民が、国体への関心を高める役割を果たしたのだ。来年の希望郷いわて国体と希望郷いわて大会にも、市民の協力や参加は不可欠だ。

それぞれの団体は、臨戦態勢に入った。1年後の大会を、全身全霊で成功させるために。

全身全霊で挑む

We have a goal to achieve.

1年後に迫る国体にかける思い

7種目の会場地になる一関。1年後に迫った開催に向け、それぞれの団体は臨戦態勢に。全国から訪れる選手を迎え、最高のパフォーマンスを発揮できるように。



Voice 7 まちづくり推進部国体推進室
まちづくり推進部次長兼国体推進室長
西城和廣さん

一昨年、国体開催に向けて国体推進室を設置し、同年に市実行委員会を市内の111団体で構成しました。実行委の4つの専門部が、大会の成功に向けて協議を重ねています。これまで、ホームページの開設、広報紙への情報掲載、体育施設へののぼり旗などの設置、啓発グッズの配布な

国体推進係長
西村慎太郎さん



ど、PR活動に力を入れてきました。来年に向けて、さらに盛り上げたいです。年内には、リハーサル大会や障がい者スポーツ大会のデモンストレーションも実施。各協会と連携し、運営面の課題をクリアしていきたいと考えています。大会の成功には、市民の参加が欠

1_きれいなまちを目指す「クリーンアップ運動」。26年度は、市内企業5団体180人が参加した/2_だれでも手軽に踊れる「わんこダンス」。市内各地で講習会が開かれている/3_花いっぱいの沿道で選手を迎える「国体ロード」



Voice 6 市スポーツ吹矢協会
萩田進会長
真柴・69歳



12年ほど前に吹矢を始め、2007年に仲間と一関支部を立ち上げました。市内で、精力的に体験会や講習会を実施。昨年は、初めて市長杯を開催しました。国体までに、さらに競技人口を増やすことと市内の取り組みを県内に広げていくことが課題です。来年から、東北大会が一関で開かれます。一関が、スポーツ吹矢の東北の聖地になる日も近いはず。



Sport Fukiya
●日程
28年9月25日⑥
●会場
市総合体育館

Voice 5 市バウンドテニス協会
高橋正憲会長
萩荘・69歳



バウンドテニスは、80代でも楽しめる生涯スポーツです。市の協会員は、県内で一番多い102人。現在の課題は、若年層の競技人口の拡大と多くの若いリーダーの育成です。関東や関西でジュニア大会が行われているのに対し、東北のジュニア選手は少数。目標は、東北でジュニア大会を開くことです。各地域で体験会などを開き、競技人口を増やすことに力を入れています。



Bound Tennis
●日程
28年9月25日⑥
●会場
市総合体育館